

意味がわかるとゾツとする話

3分後の恐怖

赤い橋

107

置の下

101

雪空

95

渓流釣り

89

図書館

83

写真嫌い

77

眠れない夜に

不思議なおまじない

35

あじさい

29

もう一度

23

ティーカップ

17

こっくりさん

11

ノックの音

5

あとがき

150

付録

137

鈴の音

131

事故の多い交差点

125

知らない親子

119

道切り

113

開かずの間

71

すれ違い

65

眠れない夜に

59

蛍

53

鏡の中

47

自転車

41



救急車のサイレンで目が覚めた。

今日はなかなか眠ることができない。入院したときに起きた、不思議なことを思い出出した。

「すぐ帰れるから、大人の病室でがまんしてくれるかな」

先生が言った。

ボクの入院は簡単な手術で、四～五日で帰れるからという説明だった。

「部屋に大人がたくさんいたらイヤだな」

緊張していたボクに看護師さんが、六人部屋だけど、今は一人しかいないから、大丈夫だと教えてくれた。おじいさんと若い男の人だそうだ。入院の日と手術の後だけ、母が面会時間いっぱいまでいてくれた。家の事や仕事で父も母も忙しい。それに感染症拡大防止のために、入院患者への面会は制限されていた。

「もう退院の日まで来ないけれど、がんばってね。同じ部屋の方に迷惑をかけないようですね」

「やさしいお母さんだね」

窓際のベッドにいるおじいさんが言った。

若い男の人は、ボクの向かい側の真ん中のベッドで、カーテンを引いていた。小さい音でテレビの音がしている。ボクのベッドは入口側だった。

母が帰った後、少し傷が痛くなつた。寝る前に検温に来た看護師さんに言うと、痛みが強くなつたら、がまんしないでナースコールで呼ぶように教えてくれた。

どれくらい眼つただろう。ボクは痛みで目が覚めた。ナースコールをしようとして手を伸ばした。

コンコン コンコン ドアをノックする音が響いた。きっと看護師さんだ。ナースコールしないで済む。

「はい」

ボクは小さい声で答えた。ところが、誰も部屋に入つて来る気配がない。ボクはナースコールを押した。少しするとガラツとドアが開き、看護師さんが来てくれた。

「どうしました？」

「傷が痛いです」